

第2001号

2021年12月5日
日本共産党根室市議団
根室市宝林町4-203
TEL 23-6023
FAX 24-1684

緊急議会、補正予算を可決

根室市議会は11月25日、緊急議会を開き、約1億7千8百万円を追加する補正予算案を全会一致で可決しました。今週の市議団ニュースでは、補正予算の主な内容についてご紹介します。

今回の補正予算は、赤潮被害支援に要する経費、福祉灯油支給事業に係る費用などが主な内容となっています。

赤潮対策

11月25日現在の状況として、市水産経済部水産指導課は次のように述べています。

9月に発生した赤潮被害は、根室市でもウニ等の斃死（へいし）動物が突然死ぬ（こと）が確認され、現段階で約23億円の被害が道に認定されており、サンマ、秋サケの不振と相まって、地域経済への影響が大きいものとなっている。

10月12日に地域の要望を踏まえ、知事等により国に対し被害に対する支援について緊急要望が実施され、先般、国における支援の概略が一部報

じられたところであるが、実際の支援に至るまでのプロセスが明らかでないほか、北海道の支援が未だ示されない状況から、一刻も早い支援が必要となっている。

そのため、地域の短期的要望事項として挙げられた「赤潮被害に係る調査」及び「今期の種苗生産経費」に対し、根室市独自の支援を実施する。

事業内容

1. 赤潮被害に係る調査経費への支援

漁協等により実施された赤潮被害の状況確認等の調査に係る備船料・ダイバー経費等に支援。

事業主体…市内4漁協
総事業費…3百62万6千円

補助金額…3百31万1千円

2. 今期の種苗生産経費への支援

赤潮被害が認定された漁協により実施された今期のウニ種苗生産・放流等のウニ資源増大対策に係る経費等に支援。

事業主体…根室・歯舞・落石漁協
総事業費…4千40万7千円

補助金額…1千8百60万6千円

福祉灯油

根室市新型コロナウイルス関連緊急経済対策（感染拡大防止／フェーズ1…市民生活維持の支援等）の一環として実施されます。

急激な灯油単価の高騰及び新型コロナウイルス感染症の影響による収入減少、外出自粛・ステイホームに伴い、自宅で過ごす時間が長期化した状況を踏まえ、低所得の世帯に対し、冬期間における暖房用の灯油購入費として1世帯当たり1万円

分（生活保護世帯は5千円）の灯油券を支給し、冬の生活を支援するもの

です。

対象世帯は次のとおりです。

- ①市内に住所があり、申請時点で市内に居住している世帯（施設入所者や長期入院者は対象外）
- ②令和3年度の市民税非課税世帯
- ③右記の①②の要件を満たし、さらに次のいずれかに該当する世帯

- 高齢者世帯
- ・75歳以上の単身世帯
- ・65歳以上の世帯のうち、75歳以上の方が1人以上いる世帯
- 障がい者世帯
- ・特別児童扶養手当受給者がいる世帯
- ・特別障害者手当受給者がいる世帯
- ・障害児福祉手当受給者がいる世帯
- ・国民年金法による障害者基礎年金受給者がいる世帯
- ・身体障害者手帳（1、2級）を持つ方がいる世帯
- ・精神障害者保健福祉手帳（1級）を持つ方がいる世帯
- ・療育手帳Aを持つ方がいる世帯

いる世帯

○ひとり親世帯

・児童扶養手当受給者がいる世帯

○生活保護世帯

・生活保護受給世帯

これまでも「福祉灯油」は実施されてきましたが、今回は新たに、身体障害者手帳（1、2級）、精神障害者保健福祉手帳（1級）、療育手帳Aを持つ方がいる世帯（計227世帯）が拡充されています。

申請方法

感染症対策として窓口での混雑を避けるため、あらかじめ対象となる可能性のある世帯に対し、文書により通知されます。文書の中にある申込書に必要事項を記入し、返信用封筒で申請します。

通知が届かない方でも要件に該当すると思われる方は、市役所までお問い合わせください。党議員団でも相談を受け付けていますので、お気軽にどうぞ。